

高知県感染症発生動向調査（月報）

2019年1月

高知県感染症情報センター 高知県衛生研究所 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869 http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/ E-mail: 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第1週(12月31日～)から第5週(～2月3日)までの5週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における1月の上位6疾患の合計は4週換算で207.14と12月の81.33と比べて著しく増加した。増加の主因はインフルエンザの増加である。インフルエンザは2週から警報値30を超えた。病原体検出情報によると、流行開始期の2018年第48週～52週は、AH1pdm09が72.2%、AH3が27.0%、B(ビクトリア系統)が0.5%だった。しかし、直近の5週間、2019年第1週～5週は順位が入れ替わり、AH3が53.2%と最多で、AH1pdm09が46.2%、B(ビクトリア系統)が0.6%となった。

1位はインフルエンザで4週換算値が167.26(12月2位24.27)と著明に増加した。2位は感染性胃腸炎で24.47(同1位35.78)と減少、3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で7.98(同3位11.48)と減少した。4位は伝染性紅斑で3.09(同5位3.46)、5位は流行性角結膜炎で2.83(同4位3.68)、6位がRSウイルス感染症で1.50(同8位2.15)といずれも減少した。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	1週	2週	3週	4週	5週	計
1	インフルエンザ	16.30	38.54	53.91	57.09	43.24	209.08
2	感染性胃腸炎	3.15	7.52	6.54	6.88	6.50	30.59
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.82	2.10	2.06	2.50	2.49	9.97
4	伝染性紅斑	0.38	1.00	0.88	0.87	0.73	3.86
5	流行性角結膜炎	0.54	1.03	0.65	0.67	0.65	3.54
6	RSウイルス感染症	0.30	0.39	0.36	0.43	0.40	1.88

県内情報

1. 全国との対比(定点当たり報告数)。

高知県の1月の上位6疾患の合計は4週間に換算すると217.85で12月の48.11と比べて大幅に増加し、全国よりも多かった(表2)。インフルエンザは、高知県では12月の52週に注意報値10を上回り流行が始まったが、2019年第1週から警報値の30を超え流行が拡大した。全国の趨勢と異なり、高知県では12月の流行開始当初から、AH3が30株(75%)で最も多く、次いでAH1pdm09 10株(25%)で、一貫してAH3が優位を保っている。

風疹は全国で流行しており、先天性風疹症候群例が1例埼玉県から報告された。高知市で49週、51週、52週と各1例風疹の報告があり、二次感染が確認されたが、その後に発症の報告は今のところない。

1位はインフルエンザで4週換算が187.93(12月1位18.01)と著増し全国よりも多かった。2位は感染性胃腸炎で19.42(同2位17.44)と増加したが全国よりも少なかった。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で6.02(同3位7.60)と減少、4位は流行性角結膜炎で1.59(同5位1.66)と横ばい、5位は伝染性紅斑で1.58(同9位1.10)と増加したが全国よりも少なく、6位はマイコプラズマ肺炎で1.31(同10位1.01)と増加し全国よりも多かった。

表2 各週定点当たり報告数(高知県)

No	疾病名	1週	2週	3週	4週	5週	計
1	インフルエンザ	30.10	50.19	66.00	51.02	37.60	234.91
2	感染性胃腸炎	2.23	5.77	5.13	5.97	5.17	24.27
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.63	1.57	1.50	1.73	2.10	7.53
4	流行性角結膜炎	0.00	1.00	0.33	0.33	0.33	1.99
5	伝染性紅斑	0.20	0.47	0.40	0.50	0.40	1.97
6	マイコプラズマ肺炎	0.13	0.25	0.50	0.13	0.63	1.64

2. 全体の傾向

麻疹、風しんの報告無し。

風疹の流行が拡大し続けている。第47週～50週（12月16日）に、合計463例の風疹の報告があった。その結果、2018年の報告が累積で2,917例にのぼった。2019年第1週～4週の報告数は280人で、流行は続いている。高知県では49週（11月30日）に、高知市から成人の風疹が1例、続いて51週、52週と二次感染の2例が報告された。本県では20年以上にわたって本格的な流行がなかったこと、予防接種未施行者が中年以降に数多く存在することなどから、本格的な流行となる可能性が高く、対策が急がれる。

風疹による最大の問題は先天性風疹症候群CRSである。2015年以降に報告がなかったCRSが第4週に埼玉県から1例報告された。2012年（風疹患者2,386人が報告）～2013年（患者14,344人が報告された）の風疹流行で、45例のCRSを出したことは記憶に新しい。近年、小児予防接種の徹底によって、患者の年齢層が小児から成人（主として30～50歳代男性）へシフトする現象は我が国でこのときにはじめて経験され、今回の流行も同様の年齢分布である。2020年までに流行が鎮静化しなければ、国際的諸機関が東京オリンピックに女性の渡航制限をかけてくる可能性が高い。

予防接種制度上、昭和54年4月1日生まれ以前の男性（39歳以上）は、一度も風疹ワクチンを受ける機会がなかった。30～50代の男性に蓄積した感受性者を早急に減少させることが、今回の風疹流行を抑制するためのカギとなる。このため、厚生労働省は『2019年～2021年度末の約3年間にかけて、これまで定期接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性（現在39～56歳）を対象に、風疹の抗体検査を前置した上で、定期接種を行う』と発表した。抗体検査および接種率向上のために休日の予防接種や実施場所、方法について検討が必要である。

各事業所の産業医、健康管理業務者への啓発が必要であり、2014年に国立感染症研究所が作成した「職場における風しん対策ガイドライン」を参照されたい。

妊婦、産科医師への啓発も重要である。日本産婦人科学会による「産婦人科診療ガイドライン2017年版」にあるとおり、妊娠中の検査で風疹HI抗体価が低いもの（ ≤ 16 倍）には、産褥早期の風疹（またはMR）ワクチン接種が勧められている。これを推進すれば、次の妊娠では先天性風疹症候群を回避することができる。

当然ながら、麻疹風疹ワクチン定期接種の対象者（1歳児と就学前の児）はすぐに接種を済ませてほしい。

麻疹の流行拡大も危惧される。第3週までに麻疹患者67人の報告があり、2008年以降では2番目に多い。1月31日の時点で、三重県で48人、大阪府で17人、愛知県で14人、東京都10人（国立感染症研究所 多屋馨子氏による）と、新たな麻疹流行の火種が生まれたと推測される。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 11,276名（12月 864名）。1か月の報告数として2009年以降で最高を記録した。都道府県別では上位7位の報告数となった。9月に29名と小流行がみられ、10月2名、11月13名と推移したが、12月になって著増し、全国でほぼ一斉に流行が始まった。昨季につづいて早い流行開始となり、2019年第1週から警報値30を超えた。全国の病原体検出情報によると、流行開始期の2018年第48週～52週は、AH1pdm09が72.2%、AH3が27.0%、B（ビクトリア系統）が0.5%だった。しかし、直近の5週間、2019年第1週～5週は順位が入れ替わり、AH3が53.2%と最多で、AH1pdm09が46.2%、B（ビクトリア系統）が0.6%となった。

県下全域で報告されたが、高知市、中央西、中央東、須崎、幡多、安芸の順に多く、全域で警報値をはるかに超えている。ウイルスはAH3 NTが23件、AH1 pdm09が8件検出された。

2) 咽頭結膜熱

報告数 21名（12月 38名）。幡多、須崎、高知市、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 226名（12月 228名）。平年並みの報告数である。県下全域から報告があったが、特に高知市、須崎、中央西、中央東から多く報告があった。細菌は *Streptococcus pyogenes T1* が1件検出された。

4) 感染性胃腸炎

報告数 728名(12月 523名)。増加したがそれでも例年と比べ少なく、ここ10年では2018年、2012年に次いで少ない数であった。県下全域から報告があり、特に高知市、中央西、中央東、幡多から表記の順に多く報告された。病原体は、Norovirus GII NTが2件、同 GI NTが1件、Sapovirus genogroup unknownが2件、*Salmonella Enteritidis*が1件検出された。

5) 水痘

報告数 42名(12月 24名)。2014年10月からの予防接種定期化の効果で少ない数で推移している。県下全域から報告があり、安芸、須崎、幡多、高知市、中央西、中央東の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

6) 手足口病

報告数 11名(12月 45名)。初夏に流行が始まる感染症で、2017年は過去10年で最大の流行となった。8月以降は減少増加をくりかえし、2018年に入っても完全に終息しないまま、5月から再び流行が拡がり続いていたが、ようやく終息しそうである。ウイルスはEnterovirus 71が2018年1月以降で合計21件検出された。Coxsackievirus A16の検出が2018年7月以降で合計17件検出されていて、流行ウイルスのシフトが認められた。1月にウイルスは検出されていない。

7) 伝染性紅斑

報告数 59名(12月 33名)。同時期としては過去10年で2012年に次ぐ2番目の多い報告数である。全国的にも流行が取りあげられている。中央東、中央西、高知市、安芸から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

8) 突発性発疹

報告数 36名(12月 35名)。想定内の変動で推移している。

9) ヘルパンギーナ

報告数 3名(12月 5名)。例年6-7月から流行がみられるが、2018年は遅れて8月から増加した。そのため、9月は同時期として過去10年間で最多、10月は2番目に多い報告数だったが11月以降は終息に向かっている。中央東と高知市から報告された。ウイルスは検出されていない。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 2名(12月 7名)。2017年夏以降は、少ない数字で推移している。幡多と高知市から報告された。ウイルスは検出されていない。

11) RSウイルス感染症

報告数 30名(12月 57名)。2017年の8-9月は季節外れの爆発的流行となった。9月は過去10年間ですべての月間報告数のうちで最多であったが、10月以降は減少していた。2018年も昨年同様に夏季からの流行開始で、9月としては昨年に次ぐ大きな流行になったが10月以降は減少した。中央西、高知市、幡多、安芸、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスはRSウイルスB型が2件検出されている。

12) 流行性角結膜炎

報告数 6名(12月 5名)。2018年8月は過去10年間で最多の報告を記録した。高知市から報告された。ウイルスは検出されていない。

13) 細菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 0名(12月 0名)。1年に10名前後の数で推移している。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因菌とする小児例の報告はない。

14) 無菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 0名(12月 0名)。2017年から少ない報告数で推移している。

15) マイコプラズマ肺炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 13名(12月 8名)。高知市から報告された。細菌は検出されていない。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 30名（12月 21名）。並みの変動の範囲である。安芸、高知市、中央東、幡多から報告された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 1名（12月 0名）。高知市から70歳以上の高齢者が報告された。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例、2017年は2例、2018年は1例の報告があった。

高知県感染症発生動向調査部会

前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患（平成31年1月）

類型	病名	報告月	総計
		1月	
2	結核	11	11
4	レジオネラ症	1	1
5	ウイルス性肝炎	1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	4
	急性脳炎	1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1
	梅毒	2	2
	百日咳	13	13
	総計	35	35

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2019年

1月

定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
内科・小児科	インフルエンザ		389	2,535	4,547	1,319	834	1,652	11,276	864	8,076
小児科	咽頭結膜熱			1	8		2	10	21	38	12
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	37	129	21	14	23	226	228	162
	感染性胃腸炎		18	170	314	77	36	113	728	523	356
	水痘		7	4	17	2	4	8	42	24	24
	手足口病			7	4				11	45	57
	伝染性紅斑		1	29	20	9			59	33	5
	突発性発疹		1	6	19	4	3	3	36	35	29
	ヘルパンギーナ			2	1				3	5	1
	流行性耳下腺炎				1			1	2	7	1
	RSウイルス感染症		1	2	16	7		4	30	57	47
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎				6				6	5	3
STD	性器クラミジア感染症									1	3
	性器ヘルペスウイルス感染症				1				1	1	
	尖圭コンジローマ				1				1		
	淋菌感染症										
基幹	細菌性髄膜炎										
	無菌性髄膜炎										
	マイコプラズマ肺炎				13				13	8	7
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)				1				1		3
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)			2	3				5	1	
	メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		4	3	20			3	30	21	20
	ペニシリン耐性肺炎 球菌感染症				1				1		
	薬剤耐性緑膿菌 感染症										
計		423	2,798	5,122	1,439	893	1,817	12,492	1,896	8,806	
前月		421	2,032	3,932	1,359	935	2,264				
前年同月		116	710	1,320	325	229	973				
小児科定点数		2	7	11	3	2	5				

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

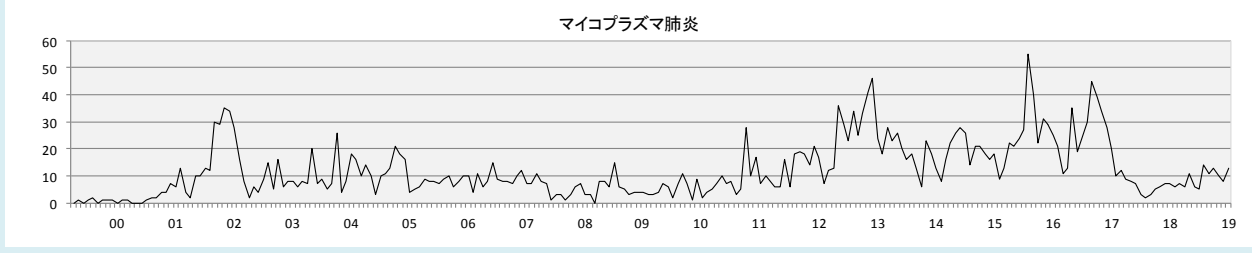
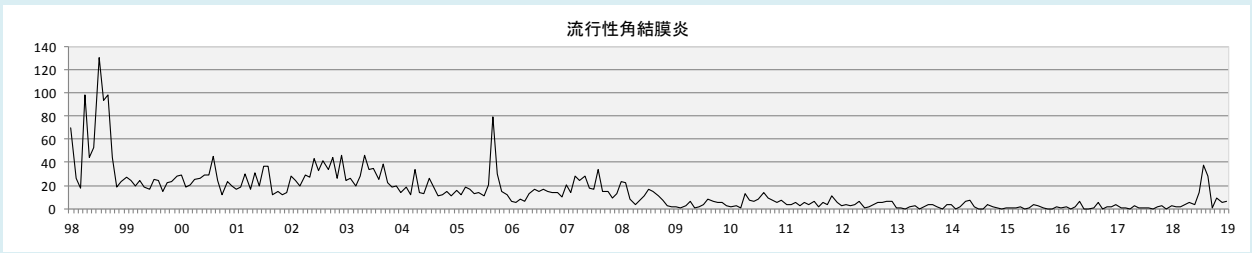
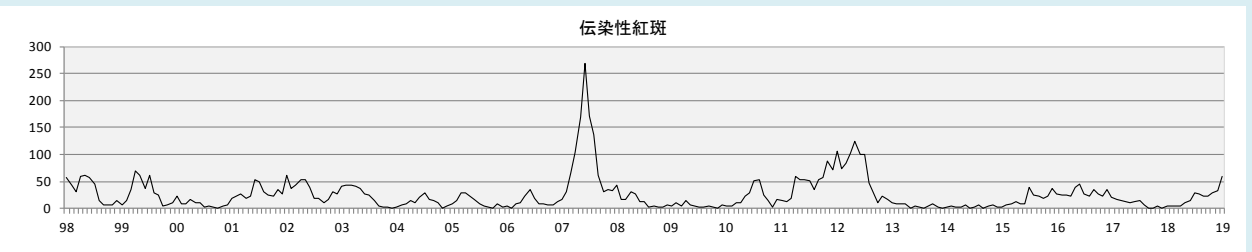
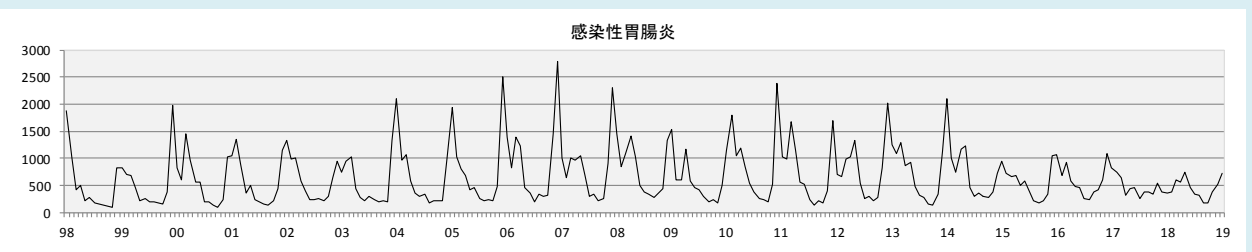
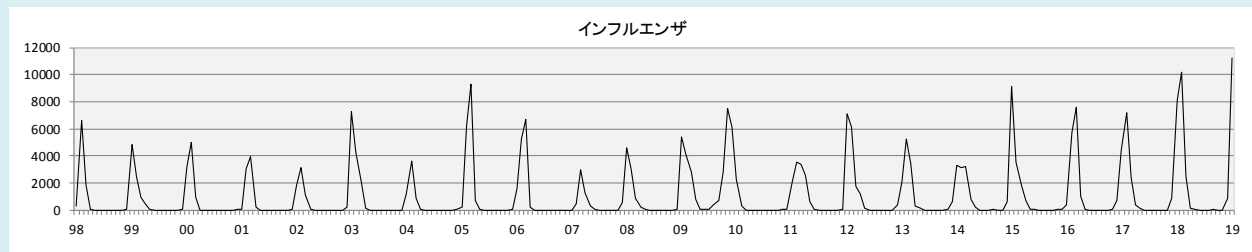
2019年

1月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ	97.25	230.45	284.19	263.80	208.50	206.50	234.91	211.94	50.94	
小児科	咽頭結膜熱		0.14	0.72		1.00	2.00	0.70	0.57	0.78	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	5.29	11.73	7.00	7.00	4.60	7.53	6.24	11.33	
	感染性胃腸炎	9.00	24.29	28.55	25.66	18.00	22.60	24.27	12.97	21.47	
	水痘	3.50	0.56	1.54	0.67	2.00	1.60	1.41	0.66	1.33	
	手足口病		1.01	0.36				0.36	1.14	0.06	
	伝染性紅斑	0.50	4.14	1.82	3.00			1.97	0.13	0.46	
	突発性発疹	0.50	0.86	1.72	1.33	1.50	0.60	1.20	0.89	1.81	
	ヘルパンギーナ		0.28	0.09				0.09	0.06	0.03	
	流行性耳下腺炎			0.09				0.20	0.06	0.03	
	RSウイルス感染症	0.50	0.28	1.45	2.33		0.80	0.99	1.69	1.17	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			6.00				1.99	0.66	0.33	
STD	性器クラミジア感染症								0.17		
	性器ヘルペスウイルス感染症			0.50				0.17			
	尖圭コンジローマ			0.50				0.17			
	淋菌感染症										
基幹	細菌性髄膜炎								0.13		
	無菌性髄膜炎								0.13	0.13	
	マイコプラズマ肺炎			2.60				1.64	0.76	1.51	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.20				0.13	0.13	0.38	
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)		2.00	0.60				0.64	0.76	0.38	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	4.00	3.00	4.00			3.00	3.75	2.50	2.63	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			0.20				0.13		0.13	
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
小児科定点分計		112.25	267.30	332.26	303.79	238.00	238.90	273.49	236.32	90.46	
前月		118.50	192.43	253.88	277.92	240.50	290.14				
前年同月		43.25	76.42	93.82	72.88	72.25	143.91				

注目される疾患別月別推移



高知県感染症情報(月報)

平成31年1月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

平成31年1月はウイルス 92件、細菌 2件の搬入があり、そのうちウイルス 52件、細菌 2件の病原体を検出し、また、平成30年12月に搬入された検体でウイルス4件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 41 2件、Echovirus 11 1件、Epstein-Barr virus 1件、Herpes simplex virus 1 1件、Human metapneumovirus 1件、Influenza virus A H1pdm09 9件、Influenza virus A H3 NT 24件、Norovirus GI NT 1件、Norovirus GII NT 6件、Parechovirus 3 1件、Respiratory syncytial virus B 2件、Rhinovirus 5件、Sapovirus genogroup unknown 2件、また、細菌の内訳は、Salmonella Enteritidis 1件、Streptococcus pyogenes T1が1件であった。

ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	0ヶ月	男	-	39℃,	ふん便	12/22	Rhinovirus
2	1	女	感染性胃腸炎	下痢,	ふん便	12/22	Adenovirus 41
3	12	男	インフルエンザ	39℃,	ぬぐい液	12/25	Rhinovirus
4	1	女	感染性胃腸炎	36℃,下痢,嘔吐,嘔気,腹痛,	ふん便	12/25	Adenovirus 41
5	1ヶ月	女	RSウイルス感染症	38℃,咳嗽,上気道炎,下気道炎,気管支炎,	ぬぐい液	12/25	Respiratory syncytial virus B
6	2	男	感染性胃腸炎	下痢,	ふん便	12/26	Salmonella Enteritidis
7	1	女	インフルエンザ	40℃,	鼻腔	12/27	Influenza virus A H3 NT
8	2	男	インフルエンザ	38℃,咳嗽,	ぬぐい液	12/27	Influenza virus A H3 NT
9	5	女	-	37℃,下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	12/28	Norovirus GII NT
10	6	男	感染性胃腸炎	36℃,下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	12/28	Norovirus GI NT
11	1ヶ月	男	-	39℃,	穿刺液	12/31	Parechovirus 3
12	1	女	川崎病疑い	40℃,上気道炎,発疹,	鼻咽頭ぬぐい液	1/1	Rhinovirus
13	1	男	-	下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	1/3	Norovirus GII NT
14	6	男	-	38℃,下痢,腹痛,	ふん便	1/3	Rhinovirus
15	10	男	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	1/4	Influenza virus A H3 NT
16	4	女	インフルエンザ	40℃,咳嗽,上気道炎,	ぬぐい液	1/5	Influenza virus A H3 NT
17	2ヶ月	男	-	40℃,	髄液	1/6	Echovirus 11
18	82	女	-	-	ぬぐい液	1/7	Influenza virus A H3 NT
19	2	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃,上気道炎,	ぬぐい液	1/7	Streptococcus pyogenes T1
20	12	女	インフルエンザ	39℃,	ぬぐい液	1/7	Influenza virus A H1pdm09
21	7	女	インフルエンザ	37℃,咳嗽,上気道炎,	ぬぐい液	1/7	Influenza virus A H3 NT
22	15	男	流行性耳下腺炎	37℃,	ぬぐい液	1/7	Epstein-Barr virus Herpes simplex virus 1
23	8	男	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	1/8	Influenza virus A H3 NT
24	2	男	インフルエンザ	40℃,咳嗽,上気道炎,	ぬぐい液	1/9	Influenza virus A H3 NT
25	3ヶ月	男	不明発疹症	咳嗽,発疹,	ぬぐい液	1/9	Rhinovirus
26	5	男	インフルエンザ	39℃,下痢,咳嗽,	ぬぐい液	1/10	Influenza virus A H3 NT
27	5	男	-	39℃,下痢,	ふん便	1/11	Norovirus GII NT
28	13	女	インフルエンザ	40℃,咳嗽,	ぬぐい液	1/11	Influenza virus A H1pdm09
29	14	女	インフルエンザ	40℃,咳嗽,	ぬぐい液	1/11	Influenza virus A H3 NT
30	5	女	インフルエンザ	39℃,咳嗽,上気道炎,	ぬぐい液	1/11	Influenza virus A H3 NT
31	12	女	インフルエンザ	39℃,咳嗽,上気道炎,	ぬぐい液	1/12	Influenza virus A H1pdm09
32	3	女	-	嘔吐,嘔気,	ふん便	1/15	Norovirus GII NT
33	1	女	感染性胃腸炎、ロタ腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	1/15	Sapovirus genogroup unknown
34	12	男	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	1/18	Influenza virus A H3 NT
35	10	女	上気道炎	38℃,咳嗽,上気道炎,	ぬぐい液	1/19	Influenza virus A H1pdm09
36	2	男	インフルエンザ	39℃,	ぬぐい液	1/19	Human metapneumovirus
37	12	女	インフルエンザ	38℃,咳嗽,	ぬぐい液	1/19	Influenza virus A H3 NT
38	5	男	インフルエンザ	39℃,	ぬぐい液	1/19	Influenza virus A H3 NT
39	10	男	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	1/19	Norovirus GII NT
40	3	男	RSウイルス感染症	39℃,気管支炎,	鼻腔	1/21	Respiratory syncytial virus B
41	4	女	インフルエンザ	39℃,下痢,腹痛,咳嗽,	ぬぐい液	1/21	Influenza virus A H1pdm09
42	11	男	インフルエンザ	-	ぬぐい液	1/21	Influenza virus A H1pdm09
43	7	男	インフルエンザ	39℃,咳嗽,上気道炎,	ぬぐい液	1/21	Influenza virus A H1pdm09
44	3	男	インフルエンザ	40℃,嘔吐,嘔気,上気道炎,	ぬぐい液	1/21	Influenza virus A H3 NT
45	6	男	インフルエンザ	-	ぬぐい液	1/21	Influenza virus A H3 NT
46	7	男	インフルエンザ	40℃,嘔吐,嘔気,	ぬぐい液	1/22	Influenza virus A H1pdm09
47	84	男	インフルエンザ	39℃,	鼻腔粘膜	1/22	Influenza virus A H3 NT
48	9	男	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	1/22	Influenza virus A H3 NT
49	8	女	インフルエンザ	40℃,咳嗽,上気道炎,	ぬぐい液	1/23	Influenza virus A H1pdm09
50	4	男	感染性胃腸炎	38℃,	ふん便	1/23	Sapovirus genogroup unknown
51	5	男	感染性胃腸炎	38℃,下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	1/24	Norovirus GII NT
52	12	女	インフルエンザ	38℃,咳嗽,	ぬぐい液	1/25	Influenza virus A H3 NT
53	8	男	インフルエンザ	38℃,下痢,咳嗽,	ぬぐい液	1/25	Influenza virus A H3 NT
54	1	女	インフルエンザ	38℃,	鼻腔	1/26	Influenza virus A H3 NT
55	3	男	インフルエンザ	38℃,	鼻腔ぬぐい	1/28	Influenza virus A H3 NT
56	10	男	インフルエンザ	40℃,	ぬぐい液	1/28	Influenza virus A H3 NT
57	4	男	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	1/28	Influenza virus A H3 NT

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2018年												2018年	2019年	2019年
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計	1	総計
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes T1</i>			1			1	1						3	1	1
	<i>Streptococcus pyogenes T3</i>			1										1		
	<i>Streptococcus pyogenes T4</i>				1		1	1						3		
	<i>Streptococcus pyogenes T12</i>						1							1		
	<i>Streptococcus pyogenes TB3264</i>					2		1	1		4	2	1	11		
	Epstein-Barr virus												2	2		
	計			2	1	2	3	1	3		4	2	3	21	1	1
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT	17	12	7	1	1							7	45	23	23
	Influenza virus A H1pdm09	28	3		1								2	34	8	8
	Influenza virus B /Victoria	3	1		2									6		
	Influenza virus B Yamagata	21	7	4	3									35		
	Human metapneumovirus														1	1
	Rhinovirus												1	1		
	計	69	23	11	7	1						10	121	32	32	
咽頭結膜熱	Adenovirus 1	1					2					1	4			
	Adenovirus 2	1	1		2	1		1					6			
	Adenovirus 8								1	1			2			
	Cytomegalovirus					1							1			
	Enterovirus 71										1		1			
	Herpes simplex virus 1								1				1			
	Human herpes virus 6									1			1			
	Rhinovirus			1							2		1	1	5	
	計	2	1	1	2	2	2	2	3	1	2	1	21			
感染性胃腸炎	Adenovirus 2			1		1		1	1	1	1	2	1	8		
	Adenovirus 3										1		1			
	Adenovirus 40/41				1								1			
	Adenovirus 41				1	2	1						2	6		
	Astrovirus NT			1			1						2			
	Coxsackievirus A4											1	1	2		
	Coxsackievirus A9								1				1	1		
	Echovirus 7								1				1	1		
	Echovirus 11									1			1	2		
	Enterovirus 71					1							1	1		
	Enterovirus NT										1		1	1		
	Human metapneumovirus								1				1	1		
	Norovirus GI NT				1								1	1	1	1
	Norovirus GII NT	5	1	1	3	2	2	2	2				4	22	2	2
	Rotavirus group AG9				1		1							2		
	Rhinovirus								1		1			2		
Sapovirus genogroup unknown	2			2	4	1	1	3			2	3	5	23	2	2
<i>Salmonella Enteritidis</i>					1		1	1					1	4	1	1
	計	7	1	3	9	11	6	9	7	3	4	6	15	81	6	6
ヘルパンギーナ	Coxsackievirus A2								1				1			
	Coxsackievirus A4									1	2		3			
	Coxsackievirus A9							1		1			2			
	Coxsackievirus A10										1		1			
	Cytomegalovirus					1							1	1		
	Enterovirus 68									1			1	1		
	Human herpes virus 6									2			2	2		
	Parainfluenza virus 3									1			1	1		
	計					1		1	4	3	3		12			
手足口病	Adenovirus 1				1			1					2			
	Coxsackievirus A4											1	1			
	Coxsackievirus A9							1	1				2			
	Coxsackievirus A16							1	5	7	2		2	17		
	Cytomegalovirus							1	1	1			3			
	Enterovirus 71	2	1		2	1	3	7	2	2			1	21		
	Echovirus 7				1								1	1		
	Epstein-Barr virus	1											1	1		
	Human herpes virus 6					1							1	1		
	Human herpes virus 7						2		1				3	3		
	Human parvovirus B19										1		1	1		
	Herpes simplex virus 1				1	2		1					4	4		
	Rhinovirus						3	5		1	1	2	12	12		
	計	3	1		5	4	8	17	10	12	3	3	69			
流行性角結膜炎	Adenovirus 2												1			
	Astrovirus NT							1					1			
	Rhinovirus						1						1			
	計						1	1					2			

臨床診断名	病原微生物	2018年												2018年 総計	2019年 1	2019年 総計		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
伝染性紅斑	Cytomegalovirus					1										1		
	Coxsackievirus A9							1								1		
	Herpes simplex virus 1							1								1		
	Human herpes virus 7								1							1		
	Human metapneumovirus				1											1		
	Human parvovirus B19													1		1		
	Rhinovirus								1		1					2		
計			1		1		3	1	1		1				8			
流行性耳下腺炎	Epstein-Barr virus											1			1		1	
	Herpes simplex virus 1															1	1	
	Human herpes virus 7											1			1			
	Parechovirus 1								1						1			
計								1			2			3		2	2	
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus B4	1													1			
	Echovirus 7										1				1			
	Human herpes virus 7								1				1		2			
	Herpes simplex virus 1								1					1	2			
	Parechovirus 3								1						1			
	Rhinovirus											1			1			
計	1							3		2		1	1	8				
RSウイルス感染症	Coxsackievirus A4										1				1			
	Respiratory syncytial virus									1	3				4			
	Respiratory syncytial virus A	1													1			
	Respiratory syncytial virus B						1								1	2	2	
	Rhinovirus						1								1			
計	1					2			1	4				8		2	2	
水痘	Varicella-zoster virus																	
	計																	
突発性発疹	Adenovirus 2												1		1			
	Cytomegalovirus						2								2			
	Enterovirus 71							1							1			
	Human herpes virus 6	1			1										2			
計	1			1	2	1							1	6				
その他	Adenovirus 1					1			1						2			
	Adenovirus 2	1		1	1	5	1			1	2				12			
	Adenovirus 3												1		1			
	Adenovirus 5			1		1									2			
	Adenovirus 6													1	1			
	Adenovirus 8					1									1			
	Adenovirus 11												2		2			
	Adenovirus 31													1	1			
	Adenovirus 41				1	1									2			
	Adenovirus 54												1		1			
	Astrovirus NT					1									1			
	Coxsackievirus A4											3			3			
	Coxsackievirus A9							2	20	2				1	25			
	Coxsackievirus A10											1			1			
	Coxsackievirus B2									1					1			
	Coxsackievirus B4		1	1											2			
	Cytomegalovirus	1		1				2	2	3				3	1	13		
	Echovirus 7								1		1	1			3			
	Echovirus 11																1	1
	Echovirus 18												1		1			
	Echovirus 25										1				1			
	Enterovirus 68												1	1	2			
	Enterovirus 71								1	2	1				4			
	Epstein-Barr virus	1	1							1	1		2		6			
	Herpes simplex virus 1	1	1	1	2			3	3	1				1	13			
	Human herpes virus 6	2	1	1	2	3	2	3				1			15			
	Human herpes virus 7	1			3	2	1	4	3	1	1	3	1		20			
	Human metapneumovirus	3	1	4	2	2						1	1		14			
	Human parvovirus B19								1	1	2				5			
	Influenza virus A H3 NT																1	1
	Influenza virus A H1pdm09	1										1			2		1	1
	Influenza virus B Yamagata			2											2			
	Norovirus GII NT	1				1			1				1		4		4	4
	Parainfluenza virus 2	1													1			
	Parainfluenza virus 3				1	1	5	4		1					12			
	Parechovirus 1										1				1			
	Parechovirus 3								1	1	1				3		1	1
	Respiratory syncytial virus A												2		2			
	Respiratory syncytial virus B												1		1			
	Respiratory syncytial virus									1	2				3			
	Rhinovirus				1	5	2	5	2	16	8	6	4		49		3	3
	Rotavirus group AG1							1							1			
Rotavirus group AG3							1							1				
Sapovirus genogroup unknown							1					1		2				
Enteropathogenic <i>Escherichia coli</i> OUT												1		1				
計	13	7	11	14	22	22	49	18	31	25	20	8	240		54	11	11	
総計	97	33	29	39	48	43	87	46	59	42	36	41	600		54	54		

類型	病名	報告年																														総計
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31										
2	結核									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	4	11	1565									
	計									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	4	11	1565									
3	コレラ	1					1						1										3									
	バラチフス	2																					2									
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2												2		27									
	腸チフス	1						1											1				3									
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5		2	34	2		193									
計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5		3	34	4	0	228										
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1		3						3	1				32									
	Q熱	1	1	2				1															5									
	オウム病			1		1															1		3									
	つつが虫病		9	5	2	4	5	6	7	2	5	4	2	5	8	3	3			4	11		85									
	マラリア								2					1									3									
	レジオネラ症		2		1		1				9	7	3	6	9	2	4	4	3	6		1	58									
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13	6			149									
	日本脳炎	1	1	1					1			1	1										6									
	レプトスピラ症											1		4	2	1					1		9									
	E型肝炎												1		1								2									
	デング熱												1				3	2	1				7									
	重症熱性血小板減少症候群																3	11	3	7	5		29									
計	20	21	26	12	23	21	18	17	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	30	0	1	388										
5	アメーバ赤痢		2	2	2	1	2	2	2	1		3	2	2	3		7	3	2	5		41										
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3				1		2		1	57										
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																7	19	21	22	1	4	74									
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4		4	3	3		6		1	3			2				2			30									
	ジアルジア症		1	2	1							1			1	1							7									
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1								1						1		1			4									
	急性脳炎								1	1	2	5	1	3	1		1	1	1	1		1	19									
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	1	1			1		1		1	3		1		3	5	2	1	21									
	後天性免疫不全症候群	2		2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9	6	2		67									
	侵襲性インフルエンザ菌感染症																1	5	3	4			13									
	侵襲性肺炎球菌感染症																1	4	12	16	18	6	1	58								
	水痘(入院例に限る)																	2	1	1			4									
	播種性クリプトコックス症																			1	3	1		5								
	髄膜炎菌性髄膜炎									1													1									
	破傷風		3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3	1			30									
	梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	23	3	2	162									
	百日咳																				13	13	26									
麻疹										5												5										
風しん										1	1				4	9	1					16										
計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	94	28	23	640										
新型	新型インフルエンザ											34										34										
	計											34										34										
動物	鳥インフルエンザ													1								1										
	計													1								1										
総計		61	48	67	42	51	53	46	62	189	198	258	201	242	193	164	210	210	256	238	32	35	2856									